演習 II

科目ナンバリング　SEM-302
必修　　2単位

二村　英夫

1. 授業の概要（ねらい）

演習Ｉに引き続き、基礎的な経済のテキストブックを輪読しつつ、経済的な知識を蓄え、最新の経済問題を一緒に考えていきます。このほか教材として金融・国際金融の関連記事、時事問題に関するDVD教材などを用いて様々な問題を考えていきます。

2. 授業の到達目標

社会に出てから役立つ経済的な知識の習得をベースに、実践的かつ国際的な感覚も養うことを目標にします。また、授業内でのプレゼンテーション能力、意見交換しポイントをまとめる能力なども養います。

3. 成績評価の方法および基準

出席状況とテキストブックの担当発表部分のレジュメ作成、口頭での発表をしてもらいます。これにゼミでの貢献度合も含めて総合的に評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書
『新・日本経済入門』　日本経済新聞社
『ゼミナール国際経済入門』　日本経済新聞社

5. 準備学修の内容

テキストブックを予習しつつ、問題意識をもって演習に臨んでください。常に経済の最新のニュースに興味を持ってください。

6. その他履修上の注意事項

無断欠席厳禁、相当の理由なく3回以上欠席すると受講を禁止することもあります。グループワークとして「日経ストックリーグ」「日銀グランプリ」に挑戦します。

7. 授業内容

【第1回】　オリエンテーション
【第2回】　国際経済と日本の貿易（概況）
【第3回】　国際経済と日本の貿易（歴史・理論）
【第4回】　時事問題
【第5回】　変わる産業構造（概況）
【第6回】　変わる産業構造（歴史・理論）
【第7回】　時事問題
【第8回】　国際化の中の日本（概況・歴史）
【第9回】　国際化の中の日本（アジアとの繋がり）
【第10回】　時事問題
【第11回】　国際経済の変貌と日本経済
【第12回】　発展途上国の問題について（サブサハラ・アフリカ）
【第13回】　発展途上国の問題について（現代の途上国問題）
【第14回】　時事問題
【第15回】　まとめ